

平成22年度 長野県予算要望

平成22年1月6日

県民クラブ・公明

平成 20 年に発生した世界的同時不況の影響は、未だにわが国の社会・経済に深刻な影響を及ぼしております。本県においては、中小の製造業が多く、厳しい経済状況が続いております。昨年 1 月の臨時議会での補正予算をはじめ、県としても緊急経済対策を精力的に進めてきた経緯があります。しかしながら、本年度は法人 2 税を中心に税収入が激減している状況にあり、まず経済の回復を期待したいところであります。

平成 22 年度の当初予算編成にあたり、本年度よりさらに厳しい状況が見込まれますが「長野県行財政改革プラン」に基づき、できる限り税収確保に努め「長野県中期総合計画」の着実な推進と経済対策を積極的に行い、引き続き全国に誇ることのできる健康長寿県“長野”を堅持し、県民が安全に安心して生活できる環境を創出し、県民の元気を引き出す予算編成となるように要望いたします。

【危機管理部】

- 1、消防団の充実
- 2、災害情報の開示と利用促進
- 3、災害時における通信施設の充実

【企画部】

- 4、地域公共交通の活性化
 - ・バス路線の支援と充実強化
 - ・地域公共交通の維持・存続あるいは利用促進に向けた、県を主体とする全県的な啓発活動等の展開
 - ・新政権下における国の地域公共交通活性化・再生総合事業の次年度以降の予算確保及び事業活用の支援策の拡充
 - ・民間事業者や市町村等が実施する公共交通事業への財政的負担に配慮した支援策の拡充
 - ・鉄道事業への支援の拡充
- 5、J R 中央東線、J R 中央西線、大糸線、篠ノ井線の利便性の向上、輸送力強化、J R と共同による利用促進策等の具体的方策の検討
- 6、リニア中央新幹線の建設促進
- 7、J R 各駅への聴覚障害者への情報提供
- 8、サイトウ・キネン・フェスティバル松本の充実
- 9、男女共同参画社会推進にむけて各種事業の拡大
- 10、信州まつもと空港の利用促進

【総務部】

- 11、市町村合併特例交付金における適正な予算確保
- 12、元気づくり支援金10億円の確保
- 13、過疎地域の振興を推進するための実効性のある新たな制度の創設

【社会部】

- 14、安心こども基金事業の充実
 - ・ひとり親家庭等の住宅就業支援事業の充実
- 15、介護基盤緊急整備等特別対策事業補助金の確保
 - ・認知症対応型グループホーム
 - ・小規模多機能型居宅介護施設
- 16、長野県福祉医療費給付事業補助金制度の拡充
- 17、知的障害者グループホーム等施設整備、障害者自立支援整備の補助金確保
- 18、社会福祉施設への運営補助の拡充
- 19、子ども手当創設に伴う財源の確保
- 20、諏訪湖健康学園の旭町庁舎への移転を契機に、現在こども病院内にある発達障害児支援センター中南信駐在所を同所に移転し、発達障害児支援にかかわる現場職員の育成や市町村への専門的な支援の充実
 - ・松本広域や市で療育センターを整備する場合や支援システムを実施する場合の補助制度の創設を国への要望
- 21、地域組織活動育成事業費補助金(母親クラブ活動費補助金)の確保

【衛生部】

- 22、地域医療対策事業の拡充
- 23、妊婦一般健康診査事業の平成23年度以降の継続
- 24、救急救命ヘリポートの整備
- 25、過疎地の診療所の運営補助の充実
- 26、医師、看護師等医療技術者の確保について積極的な対策
- 27、木曽病院など県立病院の独立行政法人へ向けての速やかな移行
- 28、県立看護専門学校の存続
- 29、産科、小児科の医療体制の充実
- 30、重症心身障害児(者)通園事業の充実
- 31、高次脳機能障害・脳脊髄液減少症患者等への対策の拡充
- 32、がん対策の推進
 - ・がん登録事業の推進、県民の誰でも、いつでも、どこでも診療や治療ができる平準化の推進
- 33、新型インフルエンザ対策

【環境部】

- 34、一般廃棄物処理業者への転廃交付金に対して特別交付税措置を図ること
- 35、北アルプスの登山道崩落対策と上高地地域等の登山道の維持管理
- 36、山小屋浄化施設の補助金の拡大
- 37、産業廃棄物処理施設の整備
- 38、美ヶ原高原、白馬村神城奈良井をはじめ公園計画と周辺整備の推進
- 39、地球温暖化対策の施策強化
- 40、木質バイオマスの利活用の推進
- 41、新エネルギーの開発

【商工労働部】

- 42、緊急雇用創出事業、ふるさと雇用再生特別事業の促進
- 43、経済対策の強化を図り、地域格差の解消を図る
- 44、中心市街地活性化の推進
 - ・中心市街地再生支援事業については、地域の実情を鑑み、制度の弾力的運用と継続支援
- 45、工場立地に対する助成制度の拡充
- 46、技能五輪全国大会開催に向けた態勢づくり
 - ・競技会場間をスムーズに結ぶルート開発、渋滞対策、輸送手段など、アクセスの整備
 - ・観光・物産展や産業・観光ツアーの開催など、県の独自併催事業を通しての誘客の推進
 - ・大会に選手を輩出できるよう、技術者・技能者育成事業への助成額の増額や対象拡大など、企業や業界団体に対する支援策の強化・拡充
 - ・小中高校生等が「ものづくり」に感動し、興味を覚えるような教育施策の推進
 - ・ものづくり尊重機運を高めるPRや技能者の社会的地位の向上に向けた施策の充実・強化
- 47、中小企業融資制度資金の充実
- 48、高校生を含む若年層の雇用促進と雇用創出
- 49、障害者への雇用促進
- 50、中途退職者への再就職支援
- 51、商工会への支援の充実

【観光部】

- 5 2、信州ディステーションキャンペーンの推進
- 5 3、インバウンド事業の推進と受け入れ態勢の整備

【農政部】

- 5 4、食と農業農村業振興計画の着実な推進
 - ・転作作物の助成の確立
- 5 5、山村集落営農支援組織への県単支援事業の継続
- 5 6、地滑り指定概成地内の施設補修等の継続
- 5 7、戸別所得補償制度に伴う激変緩和支援措置
- 5 8、地球温暖化による農作物への悪影響対策
- 5 9、食肉処理施設の整備と経営改善対策並びに畜産振興施策の充実
- 6 0、土地改良事業の促進
 - ・かんがい排水事業 四ヶ堰地区
 - ・畑地帯総合整備事業 山辺地区
 - ・畑地帯総合整備事業 岩垂原地区
 - ・中山間地域総合整備事業 山辺地区
 - ・ため池等整備事業 美鈴湖地区
 - ・畑地帯総合整備事業 下原地区
- 6 1、有害鳥獣対策の促進
- 6 2、地産地消・自給率の向上、ポジティブリスト制度の徹底
- 6 3、農産物の価格安定制度の充実・品目拡大
- 6 4、農林業者の担い手の促進事業の拡大
- 6 5、遊休荒廃地対策と解消支援

【林務部】

- 6 6、信州の森林づくり事業補助金の前年並み確保
- 6 7、松くい虫防除対策（松林健全化対策）
- 6 8、森林整備加速化・林業再生事業の拡充
- 6 9、地滑り指定概成地内の施設補修等の継続

70、公共治山事業の推進

71、有害鳥獣対策のさらなる推進

- ・春熊猟実施の管理計画樹立に向けた指導と支援
- ・被害防止対策に充実とわな設置に関する規制の緩和
- ・有害鳥獣の生息数等、的確な把握に基づく計画的な個体数調整
- ・里山（緩衝帯）整備、長期的な森林整備に対する継続的な支援
- ・ツキノワグマ剥皮防止事業への支援

72、治山・治水を促進し安心・安全の地域づくり

73、森林税等を活用し森林整備における間伐、林道整備の促進

74、森林整備加速化・林業再生事業

75 木造公共事施設整備事業（通常事業）のさらなる支援

76、里山エリア再生交付金事業の推進

77、県治山事業及び耕地地すべり対策事業の推進

< 県治山事業 >

- ・地域防災対策総合治山事業
- ・奥地保安林保全対策事業
- ・予防治山事業
- ・地すべり防止事業
- ・保安林改良事業

< 耕地地すべり対策事業 >

- ・地すべり対策事業

78、森林整備の促進

79、林道整備等の促進

- ・高遠線（開設） L = 7,190m
- ・宮ノ入線（改良） L = 345m
- ・美ヶ原線（改良） L = 260m
- ・奈川安曇線（舗装） L = 3,988m
- ・奈川安曇線（改良） L = 1,770m
- ・栗の木線 L = 4,766m
- ・西山南線他 7 路線 L = 2,600m

80、県産材の利用促進

81、森林づくり県民税のわかりやすい活用

【建設部】

- 82、東外環状線の早期建設及び五輪大橋～Mウェーブ間の整備
- 83、県道塩崎バイパスの早期完成
- 84、上田・篠ノ井バイパス（塩崎～稲荷山間）の早期着工
- 85、高田若槻線の早期完成に向けた事業推進
- 86、県営住宅君石団地建替え事業の敷地造成・道路付替え工事の推進
- 87、市営住宅渋沢団地建替え事業の実施設計業務委託
- 88、下水道事業の促進
 - ・雨水管渠整備の促進 下水道防災事業（浸水対策事業）
 - ・長寿命化支援事業 下水道防災事業（地震対策事業）
 - ・非常用発電機設置 下水道事業（未普及解消事業）
- 89、浄化センター第2期改築更新事業 下水道事業（水質保全事業）
- 90、県道整備、砂防事業の整備促進
- 91、上水道事業補助の充実
 - ・簡易水道施設建設事業 榑川浄水場整備
- 92、土木事業関係の推進
 - ・（一）県道榑川岡谷線上田バイパス整備事業（北小野 上田）
 - ・（一）県道原洗馬停車場線改良事業
 - ・中電変電所南北拡幅改良事業（広丘郷原）
 - ・郷原堅石側溝整備事業（広丘郷原・広丘堅石）
 - ・沿道環境改善事業 国道153号舗装改良事業
 - ・金井・柿沢・塩尻町・堀ノ内・大門四番町・大門五番町
 - ・下大門交差点改良事業
 - ・（主）地方道松本塩尻線整備事業（南内田）
 - ・（一）県道御馬越塩尻停車場線整備事業
 - ・中原交差点整備事業（太田）
 - ・桔梗ヶ原歩道整備事業（桔梗ヶ原）
- 93、権現川河川整備事業の推進（北熊井）
- 94、急傾斜地整備事業の推進（奈良井）
 - ・奈良井下城（丸山漆器店西側）
- 95、川鳥川砂防指定への取り組み（北小野 古町）
- 96、県道上生坂松川停車場線中山温泉周辺の整備促進
- 97、街なみ環境整備事業の促進
- 98、県道有明大町線（山麓線）の歩道整備及び道路改良促進
- 99、国道147号線の歩道整備の促進

- 1 0 0、地域高規格道路松本糸魚川連絡道路の起点の整備促進
- 1 0 1、乳川の護岸等の整備及び管理の充実
- 1 0 2、治水・砂防・急傾斜地事業の推進と防止対策の強化
 - <治水事業>（重要水防箇所等）
 - ・大町市農具川・高瀬川・稲尾沢川・鹿島川・木崎湖護岸整備・木崎湖北東岸に橋の新設・犀川・土尻川
 - <砂防事業>
 - ・通常砂防事業
 - ・16号台風23号関連地すべり対策事業
 - ・災害関連地すべり対策事業
 - ・急傾斜地対策事業
 - ・通常砂防事業
- 1 0 3、住宅耐震改修への補助充実
- 1 0 4、道路・河川整備の促進
 - ・村道 0105 号線の県道昇格
 - ・中電姫二ダム下流の護岸・河床整備
 - ・国道 406 号整備
 - ・地域高規格道路『松本糸魚川連絡道路』
 - ・国道 148 号滝沢以北の歩道整備
 - ・主要地方道白馬・美麻線改良
 - ・国道 148 号楠川大橋北側の線形改良
- 1 0 5、地滑り指定概成地内の施設補修等の継続
- 1 0 6、松本糸魚川高規格道路雨中 4 km の早期着工、代替ルート案の提示
- 1 0 7、県道奉納中土駅停車場線の中央橋と J R 踏切の拡張工事の促進
- 1 0 8、県道千国北城線梅池バイパスの事業促進
- 1 0 9、姫川の河床及び護岸整備の促進
- 1 1 0、土谷川の護岸整備の促進
- 1 1 1、日道沢の護岸工事の促進
- 1 1 2、木曽川水系の河川管理・河川整備の促進
 - ・河川管理者は、河川内の景観と災害防止に配慮して管理
 - ・河川整備計画の速やかな制定
- 1 1 3、木曽川右岸道路建設促進
 - ・大桑村地域の整備促進
 - ・上松倉本から大桑村和村の整備促進
 - ・南木曽町内の整備促進
 - ・上松町南部地区における国道 19 号とアクセス道路の改善

- 1 1 4、国道 19 号の整備促進
 - ・ 棧改良、桜沢改良の整備促進
 - ・ 交通安全対策の充実
- 1 1 5、国道 256 号・南木曾町漆畑の改良促進
- 1 1 6、国道 361 号・姥神峠道路（延伸）の整備促進
- 1 1 7、広域道路（生活・観光ルート）の充実
 - ・ 主要地方道奈川木祖線の整備促進
 - ・ 主要地方道中津川山口線、開田三岳福島線の改良促進
 - ・ 一般県道上松御岳線等の未改良区間の改良促進
- 1 1 8、地域高規格道路松本糸魚川連絡道路の建設促進
- 1 1 9、国営アルプスあづみの公園 大町・松川地区の整備促進
- 1 2 0、中部縦貫自動車道及び国道 1 5 8 号の整備促進
- 1 2 1、国道 1 9 号松本拡幅の整備促進
- 1 2 2、松本城南・西外堀の復元及び内環状北線（先線）の整備促進
- 1 2 3、県営住宅の整備促進
- 1 2 4、雪崩防止対策の促進
- 1 2 5、J R 南松本駅南側踏切の立体化推進
- 1 2 6、松本・佐久地域高規格道路の整備促進
- 1 2 7、有料道路（松本トンネル・三才山トンネル・白馬有料道路）の無料化
- 1 2 8、一般県道白骨温泉線の早期開通
- 1 2 9、国道 1 4 3 号青木峠のトンネル、岡田地籍の未改良区間、安曇野市大口沢の交差点改良、大門～会吉の未施工区間の拡幅改良
- 1 3 0、松本環状高家線都市計画決定されている区間（芳川～和田）の建設促進及びその先線（和田～新村間）の都市計画決定に向けた取組み
- 1 3 1、上高地公園線の安全で安定的に通行できるよう早期の整備促進
- 1 3 2、乗鞍岳線の除雪が可能で通行上も危険のない三本滝～位ヶ原間の除雪を早め、春山観光の活性化を図るとともに、今後、大雪溪下に駐車場整備等の検討
- 1 3 3、国、県道の整備促進
 - ・ 松本和田線（西桐原～東桐原・山辺上）
 - ・ 塩尻鍋割穂高線（今井、梓川北々条）
 - ・ 松本環状高家線（梓川横沢）
 - ・ 惣社岡田線（湯の原～浅間温泉、水汲、新井）
 - ・ 新田松本線（和田、長野道側道部暫定断面区間）
 - ・ 土合松本線（空港西、市道 6 0 2 8 号線の付替）
 - ・ 松本空港線（二子橋～松本環状高家線旧道）
 - ・ 兎川寺鎌田線（庄内 2 丁目～筑摩 2 丁目）

- ・平田新橋線（宮渕新橋）
- ・会田西条停車場線（四賀中川小岩井）
- ・下奈良本豊科線（四賀錦部七嵐）
- ・矢室明科線（四賀五常井刈）
- ・大野田梓橋停車場線（安曇大野田～梓川花見）
- ・奈川野麦高根線（神谷、野麦峠下）
- ・宮渕新橋上金井線（やまびこ道路～惣社）
- ・内環状南線（国道19号鎌田交差点～博労町）
- ・松本駅北小松線（やまびこ道路～あがたの森）
- ・高瀬川右岸堤防道路の立体交差化（安曇野市の高瀬橋及び安曇橋）
- ・大町麻績インター千曲線（トンネル下～横瀬間）
- ・国道148号歩道整備（王子神社大門～木崎間）
- ・川口大町線（大塩中村～信州新町境間）
- ・有明大町線（運動公園西交差点～松川村堺間）
- ・小島信濃木崎停車場線（稲尾～美麻地区境間、二重）
- ・白馬岳大町線（木崎）
- ・青具築場停車場線（未改良区間）
- ・美麻八坂線（神明橋、二重、梨平）
- ・扇沢大町線（俵町～大町温泉郷）
- ・槍ヶ岳線（宮田町～野口）

- ・大町明科線歩道整備（館ノ内）
- ・舟場矢下線（大塚）

134、国・県道の除雪対策の充実

135、市町村所管道路事業の促進

- ・地域活力基盤創造交付金
- ・まちづくり交付金
- ・道整備交付金
- ・地方特定道路
- ・住宅市街地基盤整備事業
- ・過疎債

136、上高地地域梓川河床上昇防止対策

137、白骨地区湯川上流岩盤崩落防止

138、国・県管理河川災害防止のための河川等の整備促進

- ・梓川及び奈良井川の護岸改修工事の促進（国直轄）
- ・奈良井川流域河川整備計画

- ・田川の災害対策
- ・湯川・大門沢川・三間沢川・女鳥羽川・前川・会田川・矢久川・保福寺川
- ・砂防河川 地滑り地域
 - ①中山沢川（入山辺） ②千石沢川（中山） ③舟沢川（内田）
 - ④追倉沢川（里山辺） ⑤大和合沢川（入山辺） ⑥中沢川（中山）
 - ⑦女鳥羽川（三才山） ⑧穴田沢川（本郷） ⑨兎沢川（蟻ヶ崎）
 - ⑩牛伏川（寿） ⑪釜の沢（梓川） ⑫大飛々沢（梓川）
 - ⑬尾入沢（梓川） ⑭島々谷（安曇） ⑮仏ヶ沢（四賀）
 - ⑯岩井堂沢（四賀） ⑰社宮寺（四賀） ⑱取出（四賀）
 - ⑲ヒロゴ沢（四賀） ⑳萩沢（四賀）
- ・都市河川
 - ①薄川 ②鎖川 ③田川 ④牛伏川 ⑤女鳥羽川
 - ⑥和泉川 ⑦塩沢川 ⑧北洞川 ⑨中洞川 ⑩南洞川

1 3 9、河川内の樹木伐採除去と防災への安全対策

1 4 0、想いやりのみちづくり(くらしのみちゾーン)事業の促進

1 4 1、緊急輸送道路・橋梁等優先整備促進及び道路維持・補修等の拡充

【企業局】

1 4 2、県営水道事業の移管促進

【教育委員会】

1 4 3、長野県立短期大学の4年制大学化の推進と学科のあり方など十分な検討

1 4 4、まなびサポート事業の充実 特別支援講師の増員

1 4 5、選択型こまやか教育プランの充実 こまやか教育プランの配置教員の増員

1 4 6、中学校における30人規模学級の導入

1 4 7、教育適応指導員に対する財政支援

1 4 8、心身に障害のある等の児童・生徒に対する教員の増員

1 4 9、長野オリンピック施設の維持・管理及び施設改修等に関する助成

1 5 0、旧県立木曾山林高校の跡利用について協議の推進

1 5 1、不登校対策の推進

- ・市町村と連携した不登校対策総合支援事業（仮称）の推進

- ・スクールカウンセラー指導時間の増加、ソーシャルワーカー事業の充実

- 1 5 2、教員人件費の負担は国・県の責務である。正常な学校運営のために、市町村に対する支援体制への強化・充実。
- 1 5 3、特別支援教育の充実
- 1 5 4、中学校における非免許教員の解消
- 1 5 5、国民読書年の充実
- 1 5 6、学校教育における食育の確立
- 1 5 7、少・中・高校における禁煙教育の徹底
- 1 5 8、地域要望を受け入れた高校再編の実施と魅力あるこまやかな高校づくりへの支援

【警察本部】

- 1 5 9、交通安全対策の充実
 - ・主要県道大町一明科線池田町四丁目交差点の信号機設置
 - ・県内各地（長野市、松本市、塩尻市、大町市、木曾郡、北安曇郡など）への信号機設置
 - ・大桑村 111 キロポスト（出光スタンド）付近へ横断歩道の設置
- 1 6 0、松川村駐在所の建替え推進